

特別研究助成 成果報告

コロナ禍における国際学生交流プロジェクトについての報告
（マンハイム専門大学、成安造形大学）

Making Zine: an International Student Art and Communication Project
with Hochschule Mannheim and Seian University of Art and Design

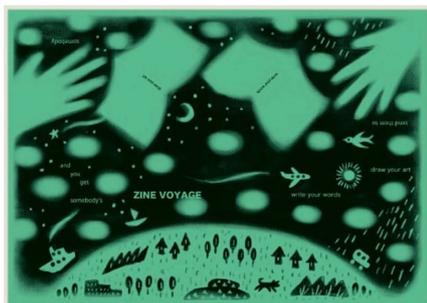
MON
MON

コロナ禍における国際学生交流プロジェクトについての報告 (マンハイム専門大学、成安造形大学)

Making Zine: an International Student Art and Communication Project
with Hochschule Mannheim and Seian University of Art and Design

MON
MON

教授 (イラストレーション、出版、ZINE、企画編集)



画像1 ポスター (MON) (以下撮影 MON)



画像2 ポスターはリソグラフの特性を活かし、同じ版下で紙とインクを変え4種類制作、会場で来場者が自由に持っていただけるようにした。



画像3 ポスターも折って冊子のかたちにすることができる。

This is a report on the international art and communication project of exhibition and exchange of zines made by students from Hochschule Mannheim and Seian University of Art and Design.

During the COVID-19 pandemic, human movement has been limited, but “data things” can move freely. Data moves in the “digital world”, real things move in the real world.

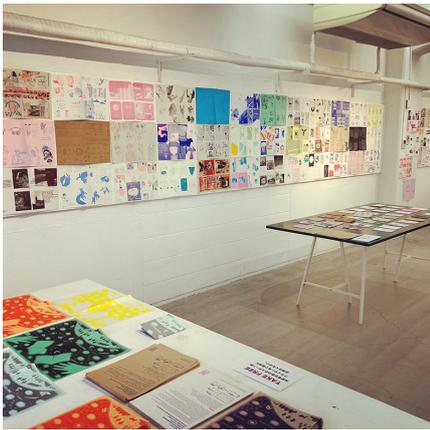
For this project, zines are made via digital data, then printed by human hands using real paper and ink. Participants receive real paper copies of the zines, exchange their impressions, communicate, and inspire each other.

1. 趣旨

成安造形大学とマンハイム専門大学とは提携校の関係にある。MONは2019年春にマンハイムより教員と学生が訪日した際、京都のコロタイプ印刷会社(株式会社便利堂)の見学、大阪のリソグラフ専門の印刷会社(株式会社JAM「レトロ印刷」)、山科の本藍染雅織工房見学と体験ワークショップのアレンジとアテンド、また、成安造形大学において双方の学生がテーマごとにその場でZINEを制作印刷製本するワークショップを行った。

以降教員相互の交流が続いていたが、コロナ禍で世界中で対面授業ができないこととなっていた2020年末(成安造形大学では2020年夏より部分的に対面授業が復活していたとはいえ)、マンハイムから、ドイツ、トルコ、イタリア、イギリス、日本をZoomで結んで学生が発表しコミュニケーションや発表の機会をもつプロジェクトの参加のオファーがあった。Zoomでの共同ミーティングに参加をしたものの、時期的に日本から学生個人参加をアレンジする時間がとれず、日本からはMONより2021年1月に開催された成安造形大学卒業制作展のビデオ配信参加をするにとどまらざるを得なかった。当時、世界中でなにかできないかと様々な試みがもたれ始めていたと思う。

2021年春、ZoomやSNSなどのデジタル空間でのコミュニケーションと展示というリアルなコミュニケーション、データ送信というデジタル技術と紙に印刷というリアルな発表形態、瞬時にやりとりのできるデジタル送信と印刷物を人の手で運ぶ時間、などを組み



画像4 レトロ印刷ギャラリーでの展示
(壁面)



画像5 レトロ印刷ギャラリーでの展示
(テーブル面では、折りたたみ冊子
のかたちにしたZINEを展示し、
手にとって読めるようにした。)



画像6 レトロ印刷ウェブサイトでの
紹介1

合わせたプロジェクトができないかと考え、2021年度成安造形大学特別助成金を得て、このプロジェクトを開催することとなった。

2. プロジェクトの概要

プロジェクト概要は以下のとおりである。(プロジェクト発表時に広報で使用したテキストを再掲する)

この国際プロジェクトでは、滋賀県・成安造形大学の学生とドイツ・マンハイム専門大学の学生が、リソグラフ印刷で1〜2色の折りZINE(後述)を製作し、大阪レトロ印刷ギャラリー、成安造形大学内ギャラリー、ドイツ・マンハイムにて展示後、全て学生がそれぞれ自身のZINE10部と、他学生全員のZINEを受け取ります。

ZINE=ジンとは、個人またはチームが制作する自由な自費出版冊子のことです。

コロナ禍において人の移動はいまだ制限されたままですが、「データ」「もの」の移動は自由です。

「データ」と「もの」移動、両方の特徴を利用し、最終的に、参加者全員の表現成果物であるリアルなもの=印刷物が、参加者全員それぞれの手に届けられる交流を試みます。

ドイツと日本からデータで製作され、インターネットで瞬時に印刷所に送られたアートワークが、人の手によってリアルな紙とインクで印刷されたZINEとなり、リアル世界の展示を経て、それぞれ参加者のもとへ、航空機、車、あるいは列車、人の手で運ばれます。

データも、ものとしての印刷物も、表現も、それぞれの時間をかけて、それぞれの世界で旅をすることになります。そして、参加者は印刷物を受け取り、リアルな紙の手触りとインクの匂いを感じ、他者の表現に触れるのです。

参加者はまた受け取った自分のZINEを、例えばリアルやオンラインで、だれかに送る、あげる、そっと置いておく、販売をするなど、ここからまた自分の表現物による交流を考えます。

This is the international art and communication project of exhibition and exchange of zines made by students from Hochschule Mannheim and Seian Univ. of Art and Design.

Under the COVID-19 pandemic, human movement has still been limited, but “data things” can move freely. Data moves in the digital world, real things move in the real world.

For this project, zines are made via digital data, then printed by human hands using real paper and ink. Participants will



ーリソグラフで印刷することにこだわった理由はありますか？

今回のプロジェクトでは特に、瞬時にデータや情報を送ったりシェアできるデジタルツールの利用とともに、リアル感を強く出したいと考えていて、それには完成のイメージが手に取るまで完全にはわからない部分のある、アナログ感のあるリソグラフ（紙の手触りとか、インクのカスレとか、イ

画像7 レトロ印刷ウェブサイトでの紹介2

STUDENT ZINE EXCHANGE PROJECT
ZINE 表現のリアルとデジタル
ZINE VOYAGE --Real And Digital--
International Exchange And Communication via Making Zines

This is the project of exhibition and exchange of zines made by a total of 68 students from The Hochschule Mannheim(Germany) and Seian Univ. of Art and Design (Japan). Each student makes a postcard size 8 page zine folded from A3 paper, printed by Risograph using 1 or 2 ink colors.

Under the COVID19 pandemic, human movement has been limited, but "things" data can move. We use online tools to have international workshop to communicate, create artworks with analog or digital tools, make digital data to submit to print, get real paper prints, express artworks at real exhibitions and in SNS, and communicate and give inspirations to each other.

We chose Risograph to print because of its unique unpredictable analog look by mis-registration, inconsistent ink coverages, and color mixing.

After the exhibitions, each student will get their own zine and every other student's zine. There are waiting time to get zines brought from the printer by airplanes, vicles and humans, then participants will be able to touch real paper and smell real ink, which is a real experiment.

exhibition
 - RETRO PRINT JAM Gallery (Osaka, Japan)
 11 December (Saturday)~19 December (Sunday) 10:30-18:30
 - SEIAN University of Art and Design Spiral Gallery (Shiga, Japan)
 13 December (Saturday)~22 December (Wednesday) 12:00-18:30
 - Mannheim, Germany (date and place will be announced via Instagram)
 - free poster at all venues / limited number

Funded by Seian University of Art and Design Special Research Grant
 Cooperated by RETRO INSA TSU JAM

画像8 展示のフライヤー（レジュメと折り本の図版、InstagramのQRコードを掲載した）



画像9 成安造形大学スパイラルギャラリーでの展示（エントランス）

get their real paper zines, exchange their impressions, communicate, and inspire each other.

Each student makes an 8-page postcard-sized zine - folded from A3 paper, printed by Risograph using 1 or 2 ink colors.

After exhibitions in Osaka, Shiga and Mannheim, each student will receive ten copies of their own zines and one each of every other student's zine.

There are waiting times to get the zines brought by airplanes, vehicles and humans, then they eventually will be able to touch real paper, smell real ink, which is a real experience.

学生への募集告知の内容は以下のとおりである。（2021年8月-募集を告知した）

ZINE 表現リアル & デジタル国際交流

ZINE VOYAGE — Real And Digital —

International Exchange And Communication via Making Zines

参加学生募集

Call for participation

日独 ZINE プロジェクトに参加する学生を募集します。

Call for Participation! Join the STUDENT ZINE EXCHANGE PROJECT (Germany and Japan)

- ・日独の学生が、A3片面印刷からポストカードサイズ（A6）8ページの折り ZINE を製作。大阪、滋賀、ドイツ・マンハイムにて展示をします。

Students from Germany and Japan make their own <folded postcard size zine> (from A3 paper) printed by RISOGRAPH.

Zines will be exhibited at Osaka, Shiga, and Mannheim.

This year, this project is open for 40 students. (20 from Germany, 20 from Japan.)

- ・日本の参加者→定員 20 名

20名は先着順となります。定員を超えたタイミングでフォームを締め、アナウンスをします。参加決定者には別途メールでマニュアルやテンプレートを送ります。

参加決定者は、9/24（予定）に Zoom でドイツと日本をつないだワークショップに参加、その後各自でデータ作成、レトロ印刷に各自入稿します（心配点がある場合、大学で MON に聞いていただけます）。



画像 10 スパイラルギャラリー展示風景（内部）



画像 11 同上



画像 12 同上



画像 13 同上

- ・ For German students → 20 students
Apply from the form and wait for an announcement from the teacher.
- 22. 8. Announcement, students can start sending designs
- 24. 9. Workshop
- 24. 10. Deadline for the application designs
- 24.-29. 10. We choose the best 20 and tell them to finally upload the designs to JAM
- 11. 11. Deadline for the upload to JAM

- ・ ZINE はリソグラフで印刷します（レトロ印刷 JAM）
Zines will be printed by RISOGRAPH (RETRO PRINT JAM/ printer in Japan)
about paper and inks you can use, see attached pictures.

レトロ印刷 JAM

<https://retroinsatsu.com/>

- ・ 使える紙は 1 種類です（データをレトロ印刷に提出するときに指定してください）。

You can use one of the papers types you want. Select one when you submit data to JAM.

- ・ 印刷色は、1 色もしくは 2 色（データをレトロ印刷に提出するときに指定してください）。

You can use one ink color or two ink colors. Select one or two when you submit data to JAM.

- ・ 印刷代、参加費は無料です。画材などは全て個人負担。
No money needed (printing, handling, mailing) at all. Only your art supplies.

- ・ 内容や言語は自由です。差別的表現は禁止されています。

It is free to use any language, and to draw or write anything you like. Hate and discrimination expressions are prohibited.

* 展示 exhibitions

- ・ レトロ印刷 JAM ギャラリースペースで展示（大阪・中津）
exhibition at RETRO PRINT JAM Gallery, Osaka Japan
- ・ 成安造形大学内スパイラルギャラリー展示
exhibition at SEIAN University of Art and Design Spiral Gallery, Shiga Japan
- ・ ドイツでの展示
exhibition in Mannheim Germany



画像 14 マンハイム専門大学での展示風景（画像提供 Martin Kim）



画像 15 同上



画像 16 同上



画像 17 同上

・展示終了後、参加者全員それぞれ自身の ZINE10 部と、他学生全員の ZINE を受け取ります。

After exhibitions, each student will receive ten copies of their own zine and one each of every other student's zine.

マンハイム専門大学
The Hochschule Mannheim
Martin Kim
m.kim@hs-mannheim.de
成安造形大学イラストレーション領域
Seian University of Art and Design
MON
monmon@seian.jp

学生向けに募集をかけたところ、日本でもドイツでも 2 日間で 20 名ずつの応募枠が埋まったため、急遽予算計画を修正し、締切日を 3 日延長し追加の応募者を受け入れることとした（結果、成安造形大学 41 名、マンハイム専門大学 31 名、合計 72 名）。学生の、なにかやりたいという意識がみてとれたことはたいへん大きかったと感じている。

予定どおり、9 月 24 日（土）午後 Zoom でドイツと日本をつなぎ、概要の説明や、折り ZINE を作る流れのワークショップ（各自 A3 の紙とはさみなどを用意し、実際の作り方を確認する）、リソグラフ印刷での版下の作り方やテンプレートの解説、質疑応答などを行った。ドイツには実際に使用できる紙やインクの印刷見本を送り、成安造形大学では別途、印刷見本を手にし質問ができる機会を設けた。

英語でのデータ作りの解説など、株式会社 JAM「レトロ印刷」のスタッフにも協力をいただいた。データチェックはすべて「レトロ印刷」のオペレーターがあたり、ドイツ向けには英語で対応いただいた。「レトロ印刷」には 2019 年春に、マンハイムの教員とともに訪れており、そのときに会ったスタッフもいることも大きかったと考える。

3. 発表

予定通り、11 月 11 日を締切とし、学生のデータをチェックする作業を行いつつ、10 日ほど押したとはいえ、キャンセル 4 名以外のデータが入稿、12 月初旬に印刷物が届けられた。

展示は、レトロ印刷ギャラリーにて 12 月 11 日（土曜）～ 19 日（日曜）、成安造形大学スパイラルギャラリーにて 12 月 15 日（水曜）～ 21 日（火曜）、マンハイムでは外出規制と遠隔授業が続いていたため予定がなかなかたらず、7 月 8 日（金曜）からの展示となった。



画像 18 マンハイム専門大学での展示風景（画像提供 Martin Kim）



画像 19 同上



画像 20 同上



画像 21 同上

リアル展示とともに、SNS（InstagramとTwitter）にて、会場の様子の配信、それぞれのZINEの画像紹介などを行った。

日本での展示を終えた段階でドイツに印刷物を発送したのだが、国際配送がEMSのみに制限されており、コロナ前であればEMSなら1～2週間で到着するところが1ヶ月半かかったが、無事全員の手元に印刷物がわたり、プロジェクトを終えることができた。

4. 手応えについて

学生の応募が多かったことは前述したが、学生の制作物の内容も多岐にわたっており、もちろん自由でかまわないのだが、なかには、交流ということを考えられた内容も見受けられた。

- ・日本の学生→日本を紹介する内容のもの、英語を併記し交流先の学生にも楽しんでもらえるようにしたもの
- ・ドイツの学生→日本語での表記、以前日本を訪れたときの記録

学生の成果物を見ての個人的な感想としては、ふだんの課題制作より肩の力が抜けており、のびのびと様々なチャレンジをしているように思った。

リソグラフはシルクスクリーンと同じ原理の印刷物であり、学生たちが慣れ親しんでいるフルカラーデジタル印刷物ではなく、モノクロの版下が印刷色の数必要である。そしてその版下を刷り重ねていくプロセスでは、下の色が透けて混ざり合い、選んだインク色そのものの発色にはならず、ずれることもある。様々なテクスチャーを持った紙へのインクののりぐあいも実際に見て触ってみなければわからない風合いがある。

この版下を色の数作るプロセスは、どの領域の学生もしっかり理解のうえ進めた。

成安造形大学では、すべての領域（イラストレーション、美術、空間デザイン、情報デザイン、総合、地域実践）、すべての学年からの参加があった（1年7名、2年6名、3年9名、4年15名）。

1回目に参加できなかった学生もいることと、やはり交流を続けたいという双方の考えもあり、第2回を実施することとなったことを記しておく。

SNS

Twitter <https://twitter.com/zinevoyage>

Instagram <https://www.instagram.com/zinevoyage/>